

令和3年8月13日

行政改革担当 国家公務員制度担当

内閣府特命担当大臣

(規制改革・沖縄及び北方対策) 河野 太郎 様

厚生労働大臣 田村 憲久 様

埼玉県知事 大野 元裕

千葉県知事 熊谷 俊人

新型コロナウイルスワクチンの接種に係る要望

現在、新型コロナウイルス感染症の発生が全国的に急拡大し、本県をはじめ6都府県に緊急事態宣言が発令されている。

特に最近の感染拡大により、重症患者や中等症の患者など入院患者が急増し、病床がひっ迫していることから、本県においては病床確保計画の最高レベルである「フェーズ4」に移行した。

高齢者へのワクチン接種が進み、高齢者の重症化は一定程度抑えられているものの、若年層を中心とした新規感染者が急増し、40代、50代の中等症、重症患者も急激に増加傾向にある。

このような中、8月2日にアストラゼネカ社のワクチンがワクチン接種の公費対象に追加され、原則として40歳以上でアストラゼネカ社のワクチンの接種を希望する方を対象として接種が行えることとなった。

アストラゼネカ社のワクチンは、2回接種することで臨床試験を通じて約70%程度の発症予防効果が確認されているが、海外メディアによる報道では、アストラゼネカ社のワクチンと mRNA ワクチンを交差接種すると、アストラゼネカ社のワクチンを2回接種するよりも、より高い発症予防効果が得られるとの研究結果や、アストラゼネカ社のワクチンを2回接種した後、mRNA ワクチンをブースター接種することで、より高い効果が期待できるとの研究結果が報じられている。

ワクチンの有効活用を促進し、効果を最大限に発揮させるには、こうした海外の研究成果なども参考に、エビデンスに基づくワクチン接種が必要であると考えます。

については、下記のとおり要望する。

記

国においては、安全性を確認した上で、

- 1 アストラゼネカ社のワクチンと mRNA ワクチンなど異なる種類のワクチンを接種する交差接種を早期に検討すること。
- 2 アストラゼネカ社のワクチンを2回接種した者への mRNA ワクチン等の優先的な追加接種について早期に検討すること。